

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 6日 更新

事務事業名		教育委員会議運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治
	施策	19	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	花田 秀樹
	基本事業	65	指導力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	2224
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 1	事業連番 11026	法令根拠	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められた組織で、定例(毎月下旬)・臨時の会議を行う。地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)に定められた会議であり、昭和31年11月から開催されている。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から教育委員の構成員として保護者代表の選任が努力目標から必須になった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①教育委員会議開催。→②会議録の作成(反訳を委託)→③教育委員会議の議題を教育委員会各課からあげてもらう。→④会議通知送付(前回会議録と一緒に)→⑤教育委員会議開催(①へ繰り返し)⑥委員報酬については、年2回(10月と3月)に分けて支払う
【主な予算費目】	報酬費、費用弁償等
【意見や要望】	特別にはない
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	定例教育委員会議を年間12回、臨時教育委員会議を年間2回程度予定	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 前年度と同様に実施する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回数	予算の主な増減の理由 教育委員会議の会議録反訳委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	教育委員	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	会議規則等に則った、公正かつ円滑な会議運営が行える	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	
① 活動指標	回数	回	15	14	14	17	14	14	14	
② 対象指標	人	人	5	5	5	5	5	5	5	
③ 成果指標	%	%	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源		千円	2,849		16,936	16,065	16,702	17,000	17,000
	(A) 事業費計		千円	2,849	0	16,936	16,065	16,702	17,000	17,000
	(A)のうち指定経費		千円	0	0	1,821	1,720	1,791	0	0
	(A)のうち時間外、特勤		千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費		人	3	3	3	5	3	3	3
正規職員従事人数		人	3	3	3	5	3	3	3	
延べ業務時間		時間	1,100	1,100	1,100	1,212	1,100	0	0	
(B) 人件費計		千円	4,400	4,378	4,378	4,993	4,532	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,249	4,378	21,314	21,058	21,234	17,000	17,000	

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	教育委員会議運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 法に基づいた運営を行っている <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 会議開催のため特に向上余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 法的に設置が決まっているものである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 会議録の反訳委託しているが、現在発言内容全部を記録している。要点をまとめた会議録にすれば、職員で出来、反訳する委託費も減り削減余地がある。 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小の人員で対応しているので、正職員以外での対応不可。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 公的に人選された委員を対象とするため。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 法的に決まっている事業である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

法的に決まって事業なので特に無いが、議事進行がなかなかスムーズにいかなかったことがあった。
---

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						